

為 替 相 場 展 望

株式会社 日本総合研究所
調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/research/>

目 次

ドル円相場	1
ユーロ相場	2
トピックス	3～7
ドル円相場・チャート分析	8
為替関連指標	9
資料	

本資料は2009年7月1日時点で利用
可能な情報をもとに作成しております。

本資料に関するご照会は、下記宛てお
願い致します。

欧米経済・市場動向グループ
牧田 (Tel: 03-3288-4244
Mail: makita.takeshi@jri.co.jp)

1. ドル・円相場見通し

米財政赤字拡大等のドル安材料の解消が当面見込めないなか、緩やかなドル安基調が続く見通し。

(1) 6月の相場回顧

6月のドル円相場は、5日の予想を上回る雇用統計を契機に米国での年内利上げ観測が台頭し、一時98.90円まで円安ドル高が進行。その後も世界的な景気回復期待が続くなか、98円前後でのドル堅調合いが持続。もっとも、16日のBRICs首脳会議を控えた新興諸国のドル離れ懸念や、低調な景気・インフレ指標を受けた早期利上げ観測の後退もあり、17日には95.51円までドルが急反落。その後も、22日の世銀による世界経済見通し下方修正等を背景に世界的な景気回復期待が一段と後退するなか、リスク回避の動きから、月下旬にかけ一時94.88円まで円高ドル安が進行。

(2) 今後の見通し

わが国景気の持ち直し明確化と、米国での景気低迷・金融不安継続、というコントラストを背景に、**緩やかながらも円高ドル安基調が続く見通し。**

以下の要因を踏まえると、当面**中期的な円高ドル安基調から抜け出せない見通し。**

- ①わが国生産が持ち直しに転じるなか、わが国の景気悪化を材料とした円売り圧力は既に減退
- ②住宅価格下落・家計の過剰債務問題等を背景に、米国景気の力強い回復は困難とみられること
- ③金融不安が払拭されないなか、円キャリー取引に代表される積極的なリスク取引も当面活発化する公算は小さいこと
- ④米国財政赤字の未曾有の拡大、FRBによる超低金利継続・高水準のバランスシートなど、構造的なドル安要因に解消の目処が立たないこと

上記要因を背景に、ドルに対する信認低下が顕著となればドルの下値が深くなるリスクも排除できないものの、以下の要因を踏まえると、**一方的な円高ドル安進行は回避される見込み。**

- ①世界経済の低迷により、わが国貿易収支の大幅な黒字拡大は見込み薄
- ②米経常赤字の大幅な縮小
- ③わが国景気は大幅な悪化には歯止めがかかったとはいえ、積極的な円買い材料も乏しいこと
- ④過度な円高進行局面ではわが国通貨当局による円売り介入への警戒感が強まること、等

(円)

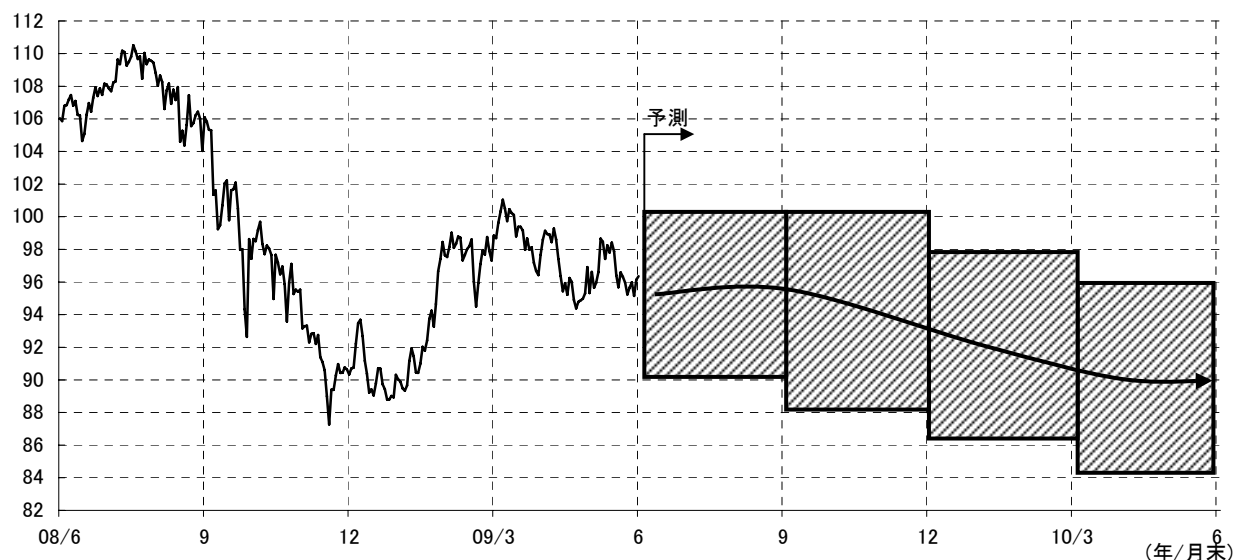
(円)

	2009年		2009年			2010年	
	6月	7月	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期
期中平均	96.5	96	97.3	95	94	92	90
(高値)	98.9	100	101.5	100	100	98	96
予測レンジ	?	?	?	?	?	?	?
(安値)	94.9	92	93.9	90	88	86	84

(円)

予測

予測



2. ユーロ相場見通し

対ドル、対円ともに、短期的にはユーロ堅調地合いながら、ファンダメンタルズ面での欧州劣位が見込まれるなか、中期的にはユーロ安へ。

(1) 6月の相場回顧

＜対ドル＞ 世界経済回復期待に伴う株高を受け、月初1.4339ドルまでユーロ高が進行したものの、その後は、①予想を上回る雇用統計を契機とした米国での早期利上げ観測の浮上、②アイルランド格下げ、③中旬にかけては、景気回復期待の後退に伴う株安により、16日には一時1.3748ドルまでユーロが反落。もっとも、ユーロ圏で景況感指数の改善が続いたこともあり、月末にかけては一時1.41ドル台前半までユーロが持ち直しへ。

＜対円＞ 世界的な景気底打ち観測を背景とした株高を受けリスク取引が積極化し、5日には一時139.26円まで円安ユーロ高が進行。その後も概ね136～137円台でのユーロ堅調地合いが続いたものの、中旬以降は、世界経済回復期待の後退に伴い株高も一服し、円買い戻しの動きが顕在化。ドイツでの財政悪化懸念もあり、23日には一時131.41円まで円高ユーロ安が加速。その後はユーロ安に歯止めがかかったものの、月末にかけて134±1円でユーロの上値の重い展開が持続。

(2) 今後の見通し

足許の状況に鑑み、ユーロ高方向に小幅見通しを修正。

＜対ドル＞ 世界的な景気回復期待が維持されるなか、**当面ユーロ堅調地合いが続く公算**。また米国債格下げ懸念やドル基軸通貨体制の動揺もユーロ押し上げに作用。もっとも、①米国と同様に低迷する欧州の実体経済、②米国以上に深刻さを増しているユーロ圏での金融問題、③ユーロ圏内での財政格差拡大等を受けた通貨ユーロに対する信認低下等を背景に、ユーロ高の持続性は乏しく、**早晚ユーロ安基調に復帰する見通し**。

一方、①ECBの利下げが一服し、一段の金利差縮小は見込み難いこと、②米財政赤字拡大などドルに対する信認が大きく低下するなか、受け皿通貨としての資金需要は今後も増大するとみられること、等から、**ユーロの下値余地も限定的**。ユーロ圏景気の悪化に歯止めがかかるとみられる2010年春以降は、徐々にユーロ安にも歯止めがかかる見通し。

＜対円＞ 世界的な株高を背景に**短期的にはユーロ堅調地合いが続く可能性**があるものの、以下の要因を踏まえると、今後は**徐々に円高ユーロ安傾向が強まる見通し**。①ユーロ圏景気の悪化持続、②ユーロ圏では金融・財政両面で政策手詰まり状況にあること、③中東欧危機を発火点とする欧州での金融不安再燃の懸念、④それらを背景に積極的な対ユーロ投資も当面再開が見込めないこと、⑤一方で、国内景気は持ち直しが明確化し始めていること、等。ただし、ドルに対する信認が大きく低下し始めるなか、その受け皿通貨としてのユーロ資金需要も強く、**円高ユーロ安進行余地も限られる見通し**。

(USD)

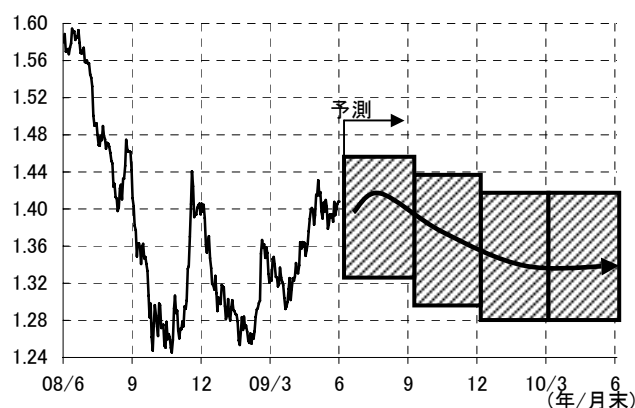
(円)

	2009年			2010年	
	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6
平均	1.363	1.39	1.37	1.35	1.35
(高値)	1.434	1.46	1.44	1.42	1.42
レンジ	}	}	}	}	}
(安値)	1.289	1.32	1.30	1.28	1.28

	2009年			2010年	
	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6
平均	132.5	132	129	124	122
(高値)	139.3	140	140	135	130
レンジ	}	}	}	}	}
(安値)	124.4	125	120	115	115

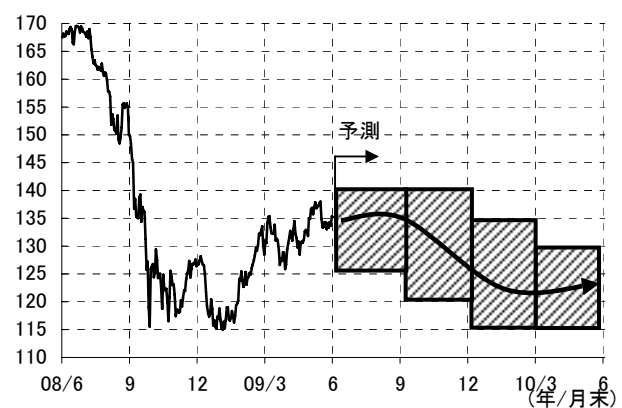
(ドル)

予測



(円)

予測



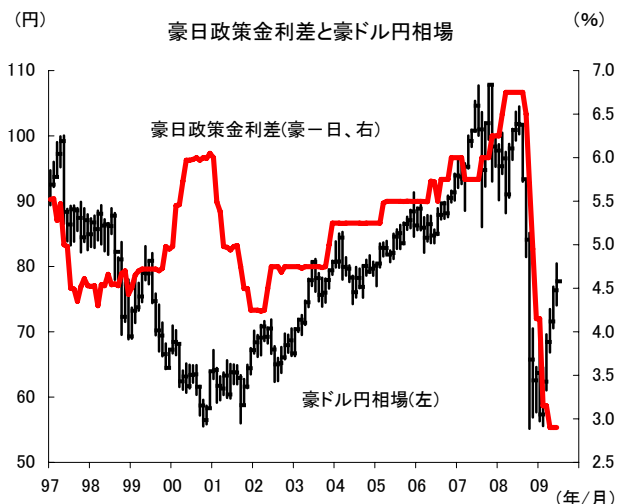
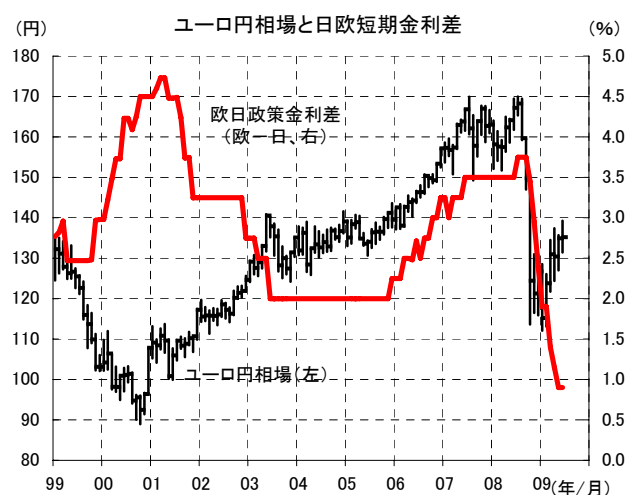
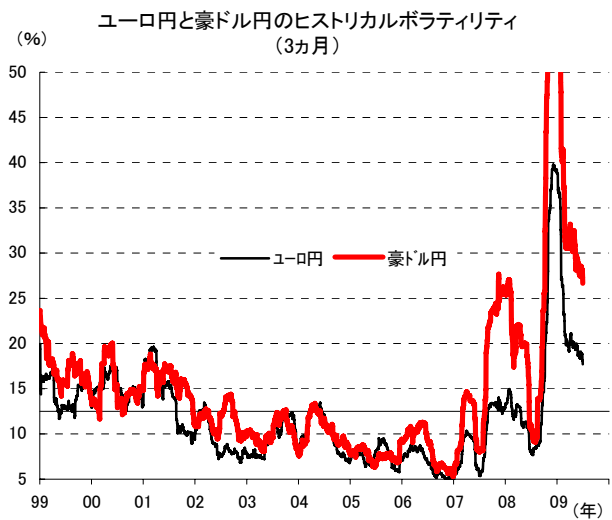
3. トピックス

(1) クロス円での円安の持続性: 変動率が高い一方、金利差は小さく、当面持続的な円安圧力にはなりえず。

金融市場の混乱が鎮静化し、世界的に景気回復期待が強まるなかで、株高局面ではクロス円を中心に円安が進行するなど、リスク資産投資の回復が指摘されている。実際、東京金融先物取引所によると、外為証拠金取引の円売り建て玉が既に昨年8月以来の水準まで回復、豪ドル買い建て玉に至っては、過去最大規模に拡大している。こうしたわが国個人投資家による円売り拡大は、ここ数年のボーナス期に特有の現象でもあり、クロス円では6～7月にかけて大幅な円安が進行し、8月以降は円高への揺り戻しが生じている。

ただし、こうした外貨建て資産投資がどれだけ腰の入った動きなのかは慎重に見極める必要があろう。すなわち、短期的な値上がり期待の投資が中心であれば、株安などを契機に急速に巻き戻しが入る可能性がある。息の長い円安局面となるには、円キャリー取引や足の長い外貨建て資産投資が活発化する必要があり、そのためには、金利差が大きく、かつ、ボラティリティが低いことが不可欠。過去のユーロ円相場及び豪ドル円相場をみると、2000年のように金利差が拡大しても、ITバブル崩壊により市場が動揺し、ボラティリティの高い局面では円高が進行しており、円高に歯止めが掛かり円安・ユーロ高・豪ドル高が進行し始めたのは、ヒストリカル・ボラティリティ(3ヵ月)が概ね12.5%を割り込んだ2001年央以降となっている。

現在、ヒストリカルボラティリティは昨年末対比では低下しているものの、ユーロ円は18%、豪ドル円に至っては未だに30%近い水準にある。これに対し、日欧政策金利差は0.9%、豪日政策金利差も2.9%にとどまっており、20%、30%の変動リスクに見合うだけの金利差があるとは到底言い難い状況にある。ユーロや豪ドルに日本から安定的な投資資金が流れていく局面が到来するには、①ボラティリティが少なくとも10%台前半まで低下する、かつ、②ECB及び豪中銀による利上げが視野に入る必要があり、世界経済及び金融市場のさらなる安定化が不可欠といえる。

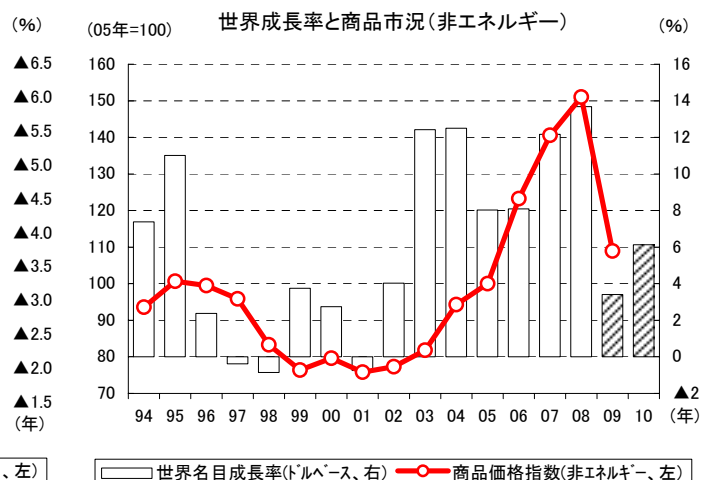
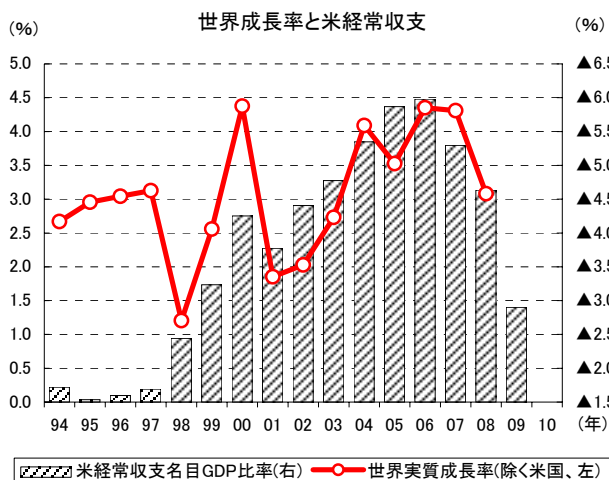
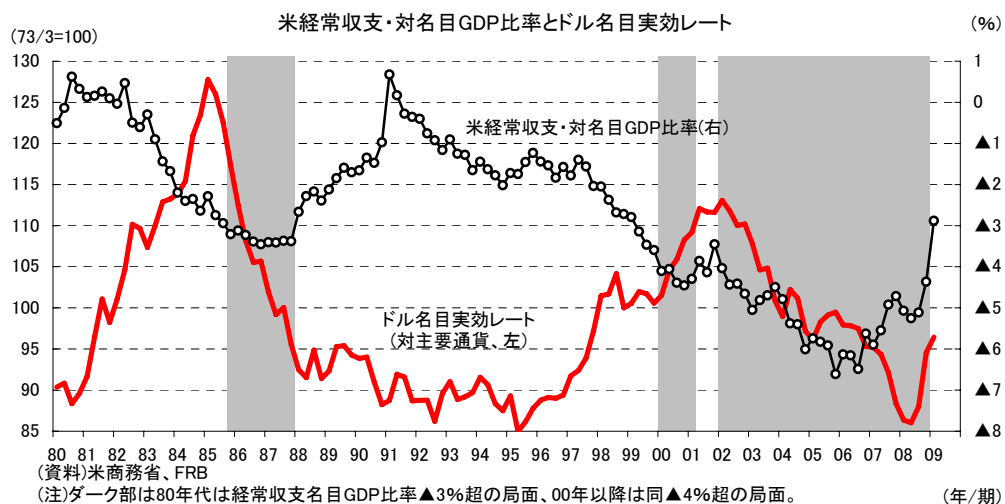


(2) 米経常収支縮小:ドル安を限定的にすると同時に、世界経済の停滞長期化を示唆しており、資源国通貨高の上値にも限界。

09年1～3月期の米国経常収支名目GDP比率は、▲2.9%と99年1～3月期以来の水準まで低下した。米国を中心とした対外不均衡は長年に亘り問題視されてきたが、米国景気の急激な落ち込みによる輸入減少により、その是正が短期間のうちに急進展した格好。過去の米国経常収支名目GDP比率とドル名目実効為替レート(対主要通貨)との関係を見ると、85年から87年までのドルの急落は同比率▲3%超の局面で、2002年からのドル安は同比率▲4%超の局面で生じている。同比率が既に▲3%を割り込む水準まで縮小するなか、対外不均衡を背景としたドル安への水準訂正は既に終了した可能性が高く、今後はドル安が進行したとしても、88～95年にみられたような緩やかなペースとなるとみられる。

一方、これまでの米国の経常赤字拡大は、米国での過剰消費が主因であり、それが世界経済の拡大を牽引するという構図であった。すなわち、米国の経常収支名目GDP比率と世界経済成長率(実質、除く米国)の関係を見ると、90年代後半以降、両者の相関が顕著に強まっている。この間の中国をはじめとした新興国経済の急拡大は、米国の旺盛な消費需要に向けた輸出が原動力となっていたことが示唆される。

大規模な景気対策を背景に中国で景気持ち直し傾向が強まるなか、2月を底に原油をはじめとした商品市況が上昇傾向を強めており、これにつれて豪ドルなどの資源国通貨も騰勢を強めている。もっとも、先行き米国消費の力強い拡大が期待できないなか、世界経済が持続的な拡大軌道に復帰できるかどうかは、中国をはじめとする新興国経済が内需主導型の経済に移行できるかにかかっている。これが実現されなければ、世界経済の成長率も長期低迷を余儀なくされ、大幅なドル安が生じない限り、商品価格指数および資源国通貨の上昇余地も限られることになる。

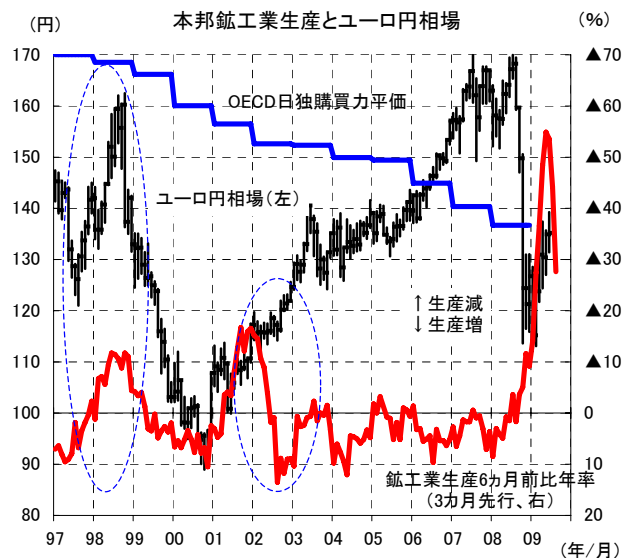
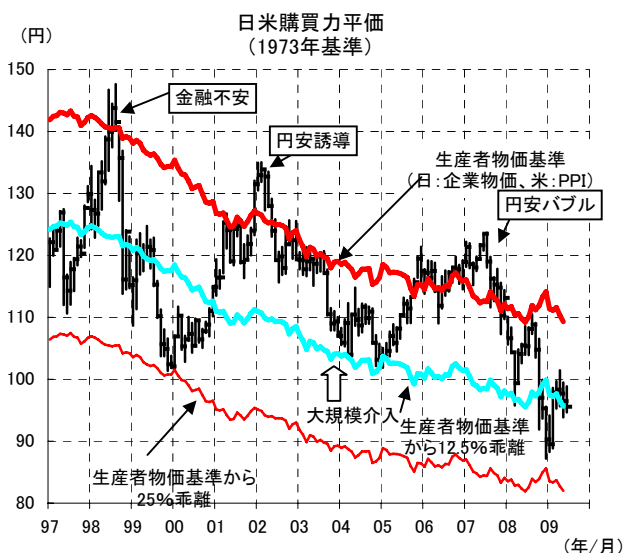
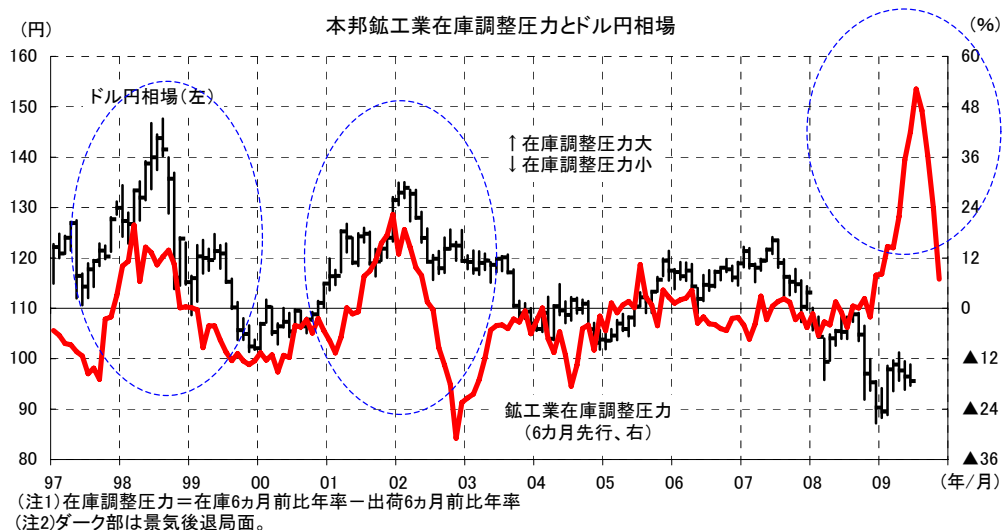


(3) 国内景気底打ち: 円高圧力が強まる方向。対ドルよりは割安感の強い対ユーロで円高進行の公算。

政府は、6月の月例経済報告で「一部に持ち直しの動きがみられる」と基調判断を2ヵ月連続で上方修正し、事実上の景気底入れ宣言を行った。実際、生産関連指標をみても、在庫調整圧力(在庫一出荷、6ヵ月前比年率)は本年1月をピークに5月まで急ピッチで伸びが鈍化しており、当面生産は持ち直し傾向が続く可能性が高い。

過去の在庫調整圧力とドル円相場との関係を見ると、在庫調整圧力がピークアウトしてから6ヵ月程度のラグを持って円安から円高への転換が生じている。過去の経験則からは、早晩円高ドル安方向に動き始めても不思議ではない情勢といえる。一方、景気回復とほぼ同時に円高が進行したのは、景気後退局面において、大幅な円安が進行していたことの裏返しともいえる。実際、ドル円相場と日米購買力平価との関係を見ると、景気回復直前の98年央、2002年初には、いずれもこれまで円安上限に作用してきた生産者物価基準の購買力平価を上回る水準まで円安が進行していた。現在のドル円相場は、2006年以降の円安バブルは既に是正され、90年代後半以降形成しているレンジ(生産者物価基準の日米購買力平価が円安上限、同25%割高水準が円高下限)のほぼ中間に位置している。極端な円割安感がない状況下、国内景気回復を材料に円高が進行しても、円高ドル安進行余地も自ずと限られよう。

ユーロ円相場においては、98年夏以降の生産持ち直し局面では、3ヵ月程度のラグを持って大幅な円高ユーロ(マルク)安が進行したが、02年の生産回復局面ではユーロ円はもみ合いに終始した。一方、OECDが算出した日独購買力平価をみると、98年時点では同水準に匹敵するほど円安ユーロ(マルク)高の状況にあったが、02年はむしろ極端な円高ユーロ安水準にあった。足許では、08年夏までにみられた異常な円安は是正されたものの、依然歴史的な円安ユーロ高水準にある。国内生産の持ち直しは、円安ユーロ高是正のトリガーとなりやすい状況といえる。

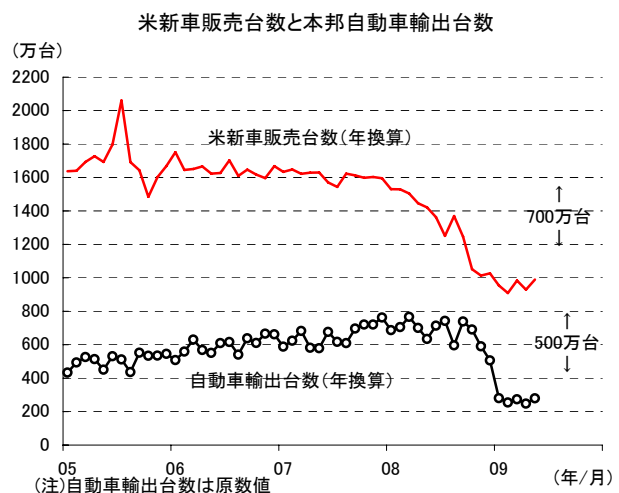
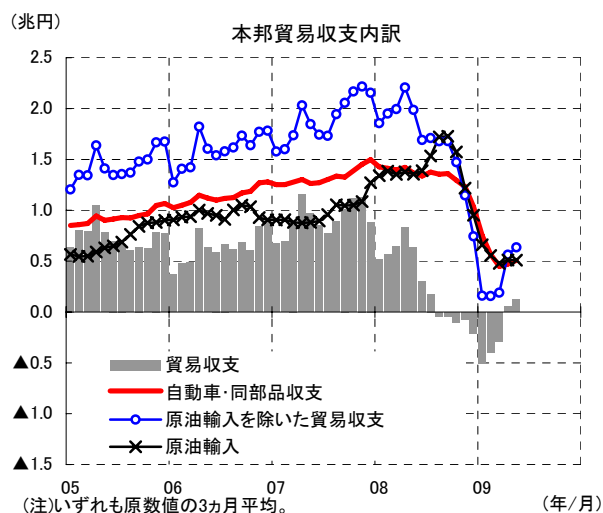
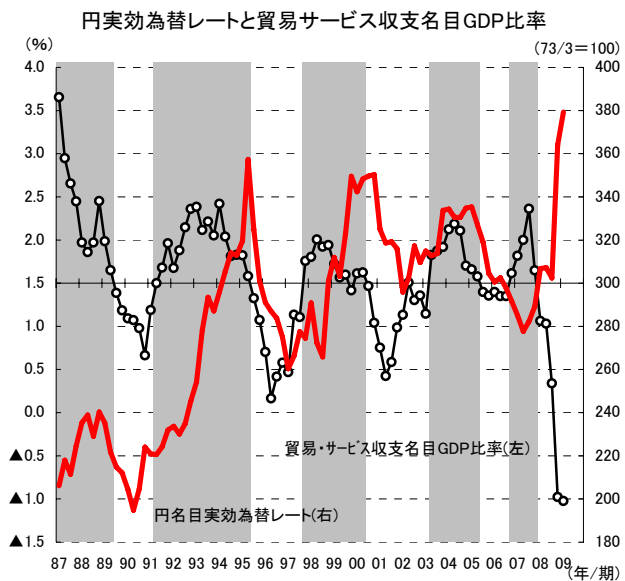
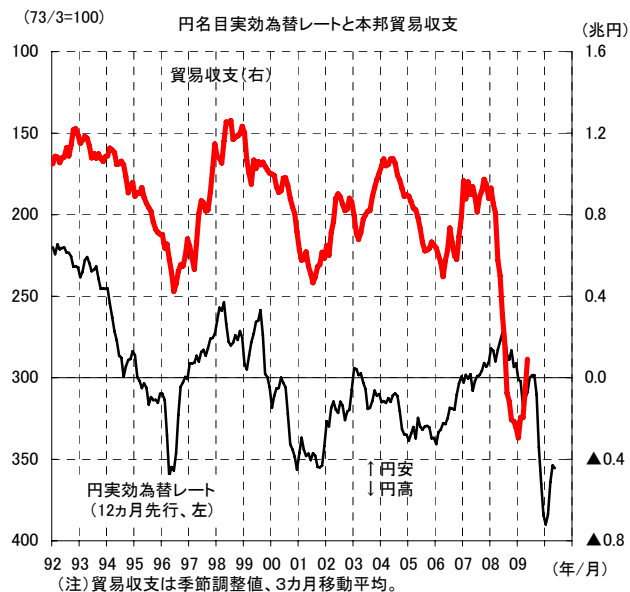


(4)わが国貿易収支の黒字復帰:米新車販売低迷から大幅な黒字拡大は当面期待薄で、持続的な円高圧力は生じない公算。

5月のわが国貿易収支は、季節調整値ベースで2,223億円と4月に続いて2ヵ月連続の黒字となった。貿易赤字転落が、円安材料視されていたことを踏まえると、黒字復活は円安材料の剥落を意味する。もっとも、本来、貿易収支は為替相場の影響を受けて変化するもの。実際、円名目実効為替レートとわが国貿易収支の関係をみると、約1年前の為替レートに反応して貿易黒字も拡大・縮小を繰り返している(08年入り以降は、未曾有の原油高及びそれに続く海外景気悪化が貿易赤字転落を招来)。実需のウエイトが高かった80年代前半ならともかく、資本取引のウエイトが大きくなっている昨今の状況下では、貿易赤字に転落したからといって円安基調に転じるわけでもなく、また、黒字に転換したからといって円高に転換するものでもない。

一方、貿易黒字が高水準になると、通貨の需給がバランスするためにはより多くの対外資本流出が必要となってくるため、円高圧力は増大する。貿易サービス収支の名目GDP比率と円名目実効為替レートの関係をみると、過去貿易サービス収支黒字がGDP比で1.5%を超えて拡大すると、円高が進行するのが通例(例外は円安バブル最盛期の06～07年)。足許の同比率は▲1.0%で、持続的な円高圧力がかかる状況になるには、貿易黒字が月0.8～0.9兆円規模にまで拡大する必要がある。

日本の貿易黒字の内訳をみると、原油輸入を除いた貿易黒字の6～7割が自動車・同部品の黒字であり、08年央以降は、そのウエイトが一段と高まっている。その意味では、わが国の貿易黒字の行方は自動車輸出がいつ大幅な増加に転じるかにかかっているが、これまでの輸出の中心だった米国では、一段の雇用悪化が予想される状況下、当面新車販売台数の大幅な持ち直しは期待できない情勢にある。中国はじめ新興国向け自動車輸出が大幅に増える、あるいは、自動車以外の産業で輸出が急拡大しない限り、わが国貿易黒字の大幅な拡大は見込めず、貿易黒字を背景とする円高圧力が強まる公算は小さいといえる。

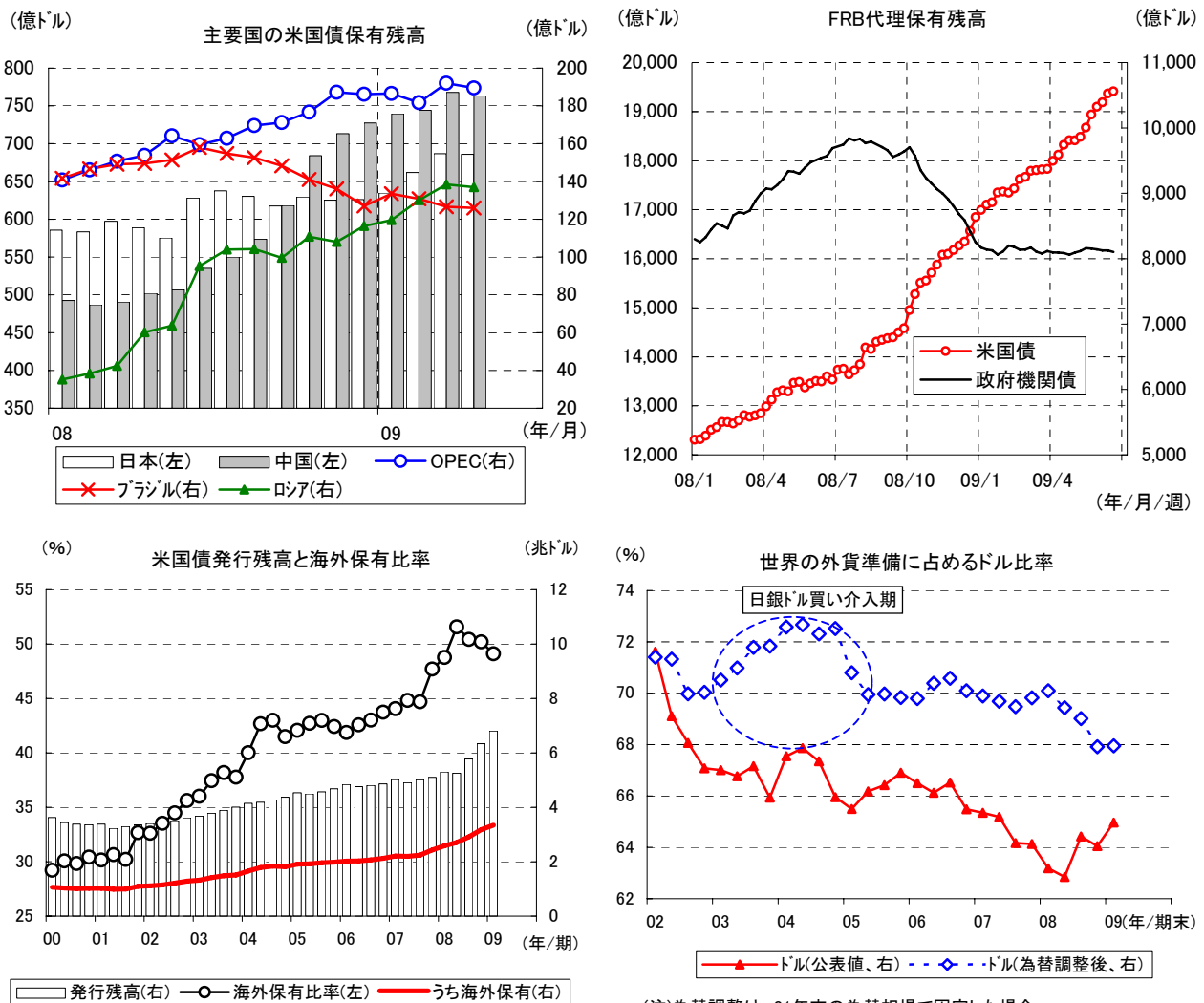


(5)ドル離れの検証:米国債・ドル離れの動きは限定的。ただし、米国債発行増をカバーしきれず、先行き金利ジリ高・ドルジリ安へ。

米国債の国・地域別保有残高推移をみると、世界最大の保有国である中国が、4月に▲44億ドルと08年2月以来の減少となった。また、ロシアで▲14億ドル、ブラジルで▲6億ドル、OPECで▲25億ドルと、新興国を中心に米国債保有が減少した。もっとも、海外全体では▲26億ドルにとどまっているほか、海外公的機関による保有残高は50億ドル増加しており、米国債離れの動きが世界中で顕著に高まっているわけでもない。その後の推移をみても、中国やロシア、ブラジルで外貨準備資産の見直しの一環としてSDR建IMF債購入に言及があったものの、FRBが海外中銀分を代理保有する米国債は、6月中旬まではほぼ一本調子で増加を続けている。米国の未曾有の財政赤字を踏まえると、米国債離れ・ドル離れの動きが先行き強まっても不思議ではないが、現時点でそうした動きが顕在化しているわけではない。

外貨準備に占める通貨別比率をみても、ドル離れの兆候は窺えない。IMFによると、09年3月末時点でのドルの比率は全世界で65.0%と昨年12月の64.1%からむしろ上昇している。比率上昇は、この間のドル高ユーロ安によるところが大きい。為替要因を排除しても、08年中続いていたドルの実質的な比率低下に歯止めがかかっている（これも海外でのドル不足を受けた外貨準備取り崩しに起因）。

一方、米資金循環勘定によると、米国債発行残高に占める海外保有比率は、08年4～6月期には51.6%まで上昇したが、09年1～3月期には49.1%まで急低下している。分子である海外中銀をはじめ海外からの米国債保有は着実に増加しているものの、2008年半ば以降の未曾有の国債発行増加により、分母に当たる米国債発行残高が膨れ上がったことが比率低下をもたらしている。これは、海外中銀による米国債・ドル離れが生じなくても、海外中銀の米国債購入ペースが高まらないと米国債の消化が困難化し、金利上昇圧力が強まる可能性があることを示唆している。急激な米国債安（長期金利上昇）・ドル安は回避できても、大幅な財政赤字のもとでは、長期に亘る米長期金利上昇・ドル安圧力の持続は避けられないだろう。



(注)為替調整は、01年末の為替相場で固定した場合。

4. ドル円相場・チャート分析

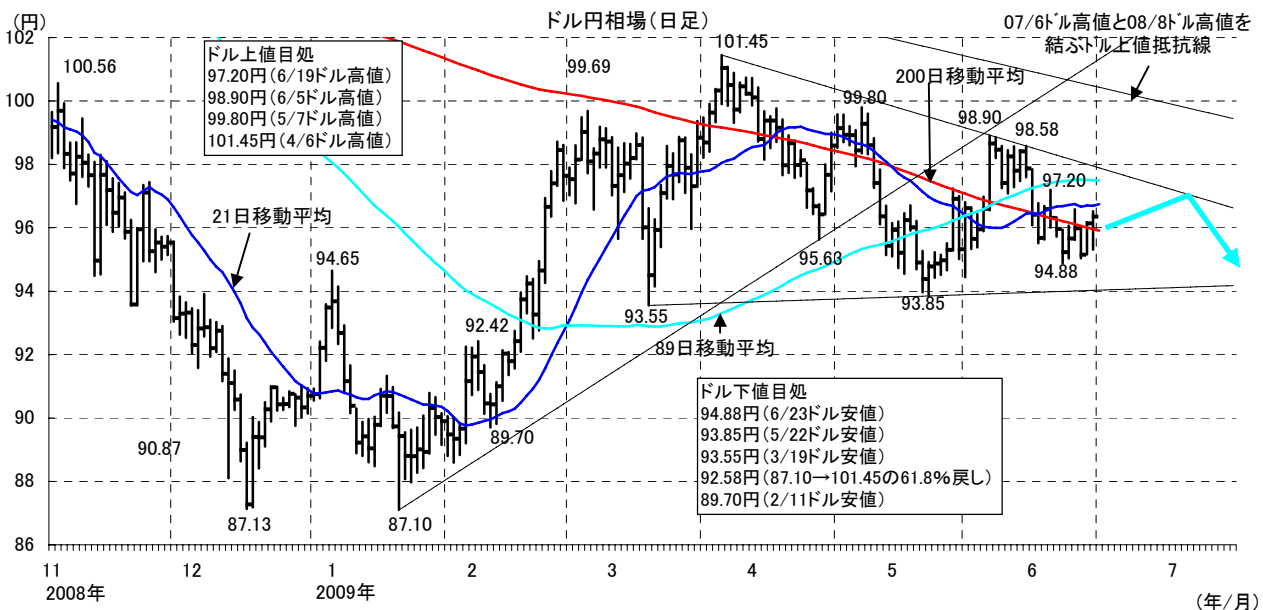
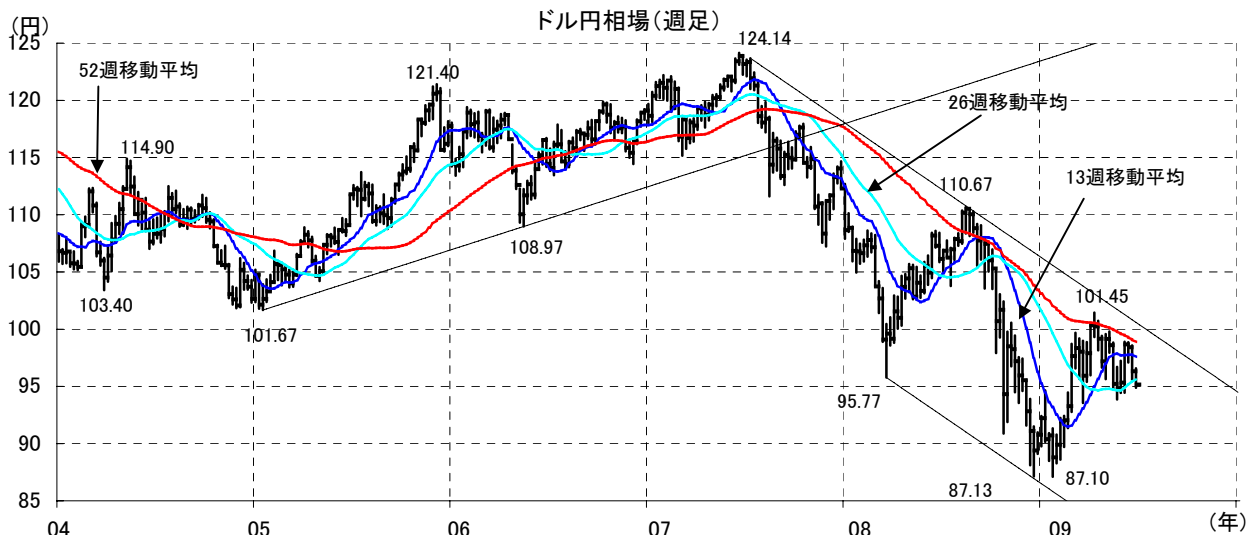
早晚持ち合いブレイクの公算。98円を上抜けると100円台までのドル反発の一方、94円を割り込むとドル安加速のリスク。

＜週足チャート（7/1時点での見解）＞

- ・3月中旬以降、26週線をドル安下限、52週線をドル高上限とするもみ合いが続いていたものの、足許では26週線を下抜けつつある状況。同線が位置する95円台半ばを大きく下抜ければ、1月からのドル反発局面一服が確認され、90円割れに向け中期ドル安再開の可能性。
- ・一方、同線が維持されれば、ドル反発が期待可能ながら、98円台後半に52週線が、100円前後に2007年6月以来のドル上値抵抗線が控えており、ドルの上値は限られ、95～100円の既往レンジでのもみ合いが長期化する見通し。

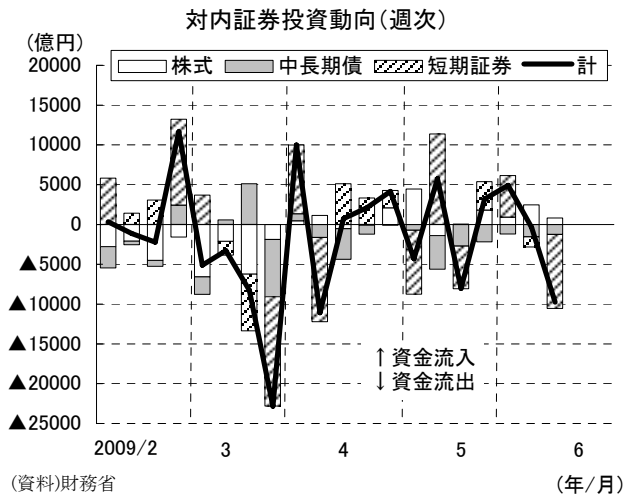
＜日足チャート（6/1時点での見解）＞

- ・6月初旬にかけてのドル上昇は、1月ドル安値と4月ドル安値を結ぶドル下値支持線がドルの上値を抑制し、その後はドルジリ安局面に移行。結果として、3月中旬以降三角持ち合いを形成。持ち合いは日柄・値幅ともに煮詰まりつつあり、早晚いずれかの方向にブレイクする公算。
- ・98円前後にあるドル上値抵抗線をドル高方向にブレイクすれば、少なくとも07年6月以来のドル上値抵抗線が位置する100円台前半、4月ドル高値(101.45円)まではドル高が進行する可能性。一方、94円前後にあるドル下値支持線をドル安方向にブレイクすれば、目立ったドル下値支持がないなか、90円割れに向けドル安が加速する可能性。

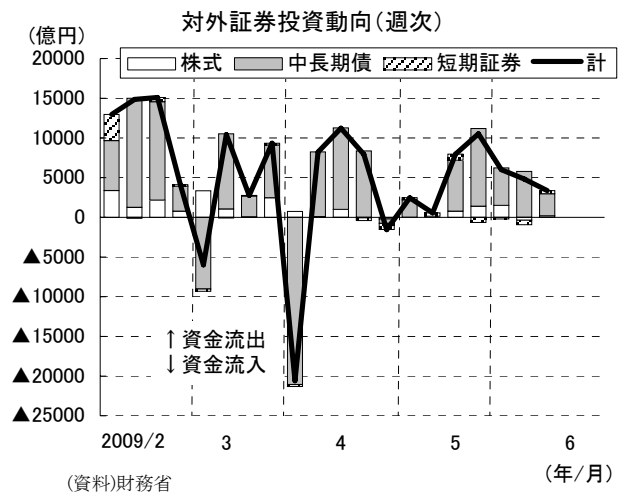


5. 為替関連指標

<対内対外証券投資動向>

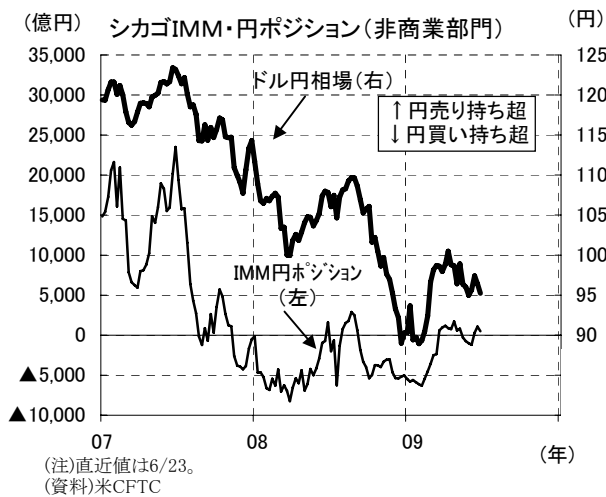


4月下旬以降、買い越し基調ながら小規模にとどまり、円高圧力は限定的な状況。

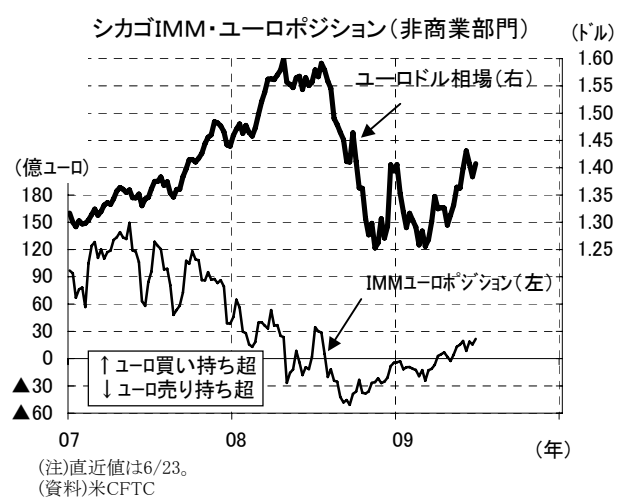


5月中旬以降中長期債を中心に高水準で推移したものの、6月入り以降は戻すばみで、円安牽引力は乏しい状況。

<シカゴIMM(通貨先物)ポジション>

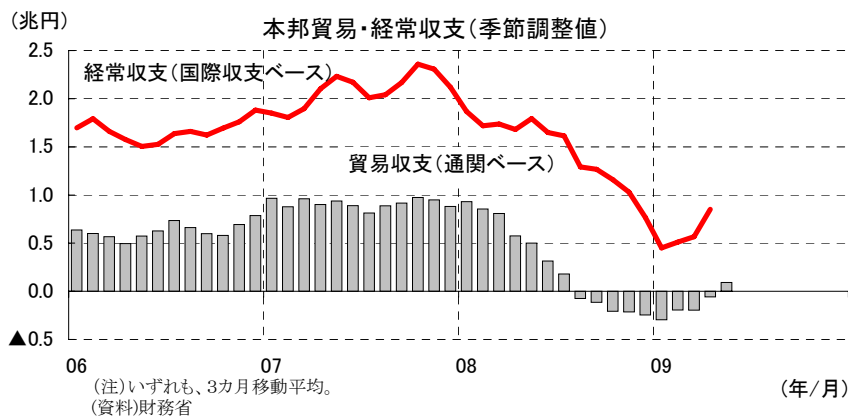


4月以降、ほぼニュートラルな状態が持続。当面は方向感を欠いた展開ながら、方向性が固まれば大きく値が飛ぶ可能性も。



5月入り以降、小幅ながらもユーロ買い持ち幅が拡大。買い余力は大きく、当面はユーロ堅調地合いが続く見通し。

<本邦貿易・経常収支>



5月の貿易収支は、輸出はほぼ横這いながら、輸入の一段の減少により、季節調整値ベースで貿易黒字が08年5月以来的水準まで拡大。今後は貿易黒字が続く公算ながら、米欧向け輸出の本格回復は見込めず、黒字の大幅な拡大も期待薄。

内外市場動向（2009年6月）

	ドル金利						円金利						為替金利		為替相場									株式相場			石油	金	CRB	
	Fed Fund O/N		1-0- ドル	1-0- \$ 先物	10年 国債	30年 国債	T-Bond 先物	無担 コール	CD 3M	1-0- ¥ 3M	1-0- ¥ 先物	円・円 スワップ 5 Y	10年 国債	円債 先物	1-0- ドル	10年 国債	円/ドル 東京	対ドル(NY 終値)				対円(NY 終値)			日経平均 225種	NY ダウ 工業株	NASDAQ	石油 (WTI) 先物	金 (COMEX) 先物	商品 指数
	終値	実効	3ヵ月	価格	金利	金利	価格	O/N			価格		金利	価格	3ヵ月	金利	17:00	対ドル(NY 終値)				対円(NY 終値)			(円)	(ドル)	(ドル)	(\$/B)	(\$/TO)	
																		円	EUR	SFr	STG	EUR	SFr	STG						
2009年				(Sep)			(Jun)				(Sep)			(Jun)																
5/25	close	close	close	close	3.45	4.38	close	0.106	0.55	0.58	99.53	0.94	1.45	136.73	1.27	3.60	94.99	94.85	1.4009	1.0832	1.5920	132.90	87.59	150.99	9347.00	close	close	close	close	close
26	0.18	0.18	1.25	99.21	3.55	4.49	118.21	0.104	0.54	0.57	99.54	0.93	1.44	136.82	1.27	3.62	95.22	95.01	1.3991	1.0835	1.5931	132.90	87.68	151.37	9310.81	8473.49	1750.43	62.45	953.3	245.44
27	0.16	0.17	1.25	99.22	3.74	4.63	116.22	0.101	0.54	0.57	99.54	0.95	1.47	136.36	1.27	3.63	94.66	95.33	1.3836	1.0924	1.5961	131.84	87.19	152.02	9438.77	8300.02	1731.08	63.45	953.3	246.46
28	0.13	0.17	1.25	99.23	3.61	4.49	117.03	0.099	0.54	0.57	99.54	0.94	1.48	136.36	1.28	3.66	96.61	96.95	1.3937	1.0854	1.5930	135.16	89.36	154.61	9451.39	8403.80	1751.79	65.08	963.2	249.83
29	0.19	0.19	0.50	99.27	3.46	4.34	117.21	0.099	0.54	0.57	99.53	0.93	1.48	136.41	1.27	3.59	96.45	95.32	1.4154	1.0668	1.6185	134.92	89.35	154.27	9522.50	8500.33	1774.33	66.31	980.3	249.83
30							(Sep)																							(Aug)
31																														
6/1	0.20	0.21	1.25	99.22	3.67	4.53	114.18	0.102	0.54	0.57	99.53	0.91	1.49	136.51	1.26	3.67	94.76	96.58	1.4166	1.0700	1.6446	136.74	90.24	158.71	9677.75	8721.44	1828.68	68.58	980.0	260.81
2	0.25	0.20	1.20	99.26	3.61	4.48	115.11	0.101	0.54	0.57	99.53	0.93	1.52	136.30	1.26	3.66	96.51	95.68	1.4306	1.0616	1.6577	136.91	90.14	158.66	9704.31	8740.87	1836.80	68.55	984.4	260.21
3	0.15	0.21	1.20	99.31	3.54	4.45	116.08	0.102	0.53	0.57	99.53	0.93	1.55	136.36	1.26	3.57	96.26	95.94	1.4153	1.0712	1.6299	135.78	89.59	156.44	9741.67	8675.28	1825.92	66.12	965.6	253.25
4	0.25	0.20	1.15	99.25	3.71	4.58	114.14	0.095	0.53	0.57	99.52	0.91	1.51	136.94	1.26	3.64	96.21	96.59	1.4189	1.0687	1.6181	136.92	90.37	156.21	9668.96	8750.24	1850.02	68.81	982.3	259.79
5	0.25	0.21	0.50	99.06	3.83	4.63	113.07	0.097	0.53	0.57	99.52	0.92	1.50	136.84	1.27	3.72	96.72	98.66	1.3975	1.0856	1.5980	137.88	90.89	157.66	9768.01	8763.13	1849.42	68.44	962.6	257.92
6																														
7														(Sep)																
8	0.15	0.21	1.15	99.10	3.87	4.61	113.14	0.103	0.53	0.57	99.51	0.96	1.52	136.44	1.28	3.68	98.55	98.45	1.3898	1.0917	1.6051	136.87	90.19	158.07	9865.63	8764.49	1842.40	68.09	952.5	255.93
9	0.15	0.18	1.15	99.21	3.86	4.65	113.21	0.105	0.53	0.56	99.50	0.95	1.53	136.62	1.28	3.64	98.17	97.41	1.4067	1.0783	1.6314	137.02	90.32	158.83	9786.82	8763.06	1860.13	70.01	954.7	262.38
10	0.20	0.18	1.15	99.21	3.95	4.76	112.22	0.103	0.53	0.56	99.51	0.96	1.54	135.65	1.28	3.69	97.61	98.22	1.3968	1.0819	1.6353	137.17	90.87	160.60	9991.49	8739.02	1853.08	71.33	954.7	260.87
11	0.15	0.17	1.15	99.24	3.85	4.70	113.18	0.103	0.53	0.56	99.51	0.97	1.55	135.59	1.27	3.70	97.83	97.58	1.4106	1.0708	1.6575	137.65	91.14	161.81	9981.33	8770.92	1862.37	72.68	962.0	266.17
12	0.19	0.17	0.50	99.27	3.79	4.64	114.10	0.104	0.53	0.56	99.51	0.95	1.52	136.01	1.26	3.63	98.04	98.41	1.4024	1.0791	1.6445	138.01	91.19	161.82	10135.82	8799.26	1858.80	72.04	940.7	262.25
13																														
14																														
15	0.25	0.22	1.15	99.27	3.71	4.56	115.05	0.104	0.53	0.56	99.51	0.95	1.50	136.16	1.25	3.52	98.24	97.83	1.3792	1.0922	1.6305	134.92	89.56	159.49	10039.67	8612.13	1816.38	70.62	927.5	256.37
16	0.22	0.22	1.15	99.26	3.66	4.47	115.22	0.110	0.52	0.56	99.51	0.93	1.46	136.57	1.25	3.53	96.60	96.38	1.3837	1.0886	1.6397	133.36	88.50	158.05	9752.88	8504.67	1796.18	70.47	932.2	255.85
17	0.22	0.24	1.15	99.25	3.69	4.51	116.10	0.105	0.52	0.56	99.51	0.93	1.47	136.58	1.24	3.48	96.47	95.72	1.3942	1.0800	1.6393	133.43	88.62	156.93	9840.85	8497.18	1808.06	71.03	936.0	256.82
18	0.28	0.25	1.15	99.18	3.83	4.60	114.06	0.104	0.52	0.56	99.50	0.93	1.46	136.75	1.23	3.55	95.83	96.60	1.3906	1.0862	1.6336	134.28	88.93	157.82	9703.72	8555.60	1807.72	71.37	934.6	256.85
19	0.28	0.25	1.15	99.22	3.78	4.50	114.28	0.105	0.52	0.56	99.50	0.93	1.45	136.92	1.23	3.50	96.82	96.27	1.3943	1.0811	1.6507	134.23	89.05	158.91	9786.26	8539.73	1827.47	69.55	936.2	252.79
20																														
21																													(Aug)	
22	0.20	0.24	1.05	99.26	3.68	4.44	116.12	0.105	0.52	0.56	99.50	0.93	1.46	137.00	1.22	3.45	96.12	95.95	1.3862	1.0864	1.6343	132.97	88.31	156.85	9826.27	8339.01	1766.19	66.93	921.0	246.07
23	0.17	0.24	1.05	99.28	3.62	4.36	117.07	0.100	0.52	0.56	99.50	0.89	1.41	137.44	1.21	3.46	95.23	95.22	1.4079	1.0670	1.6455	134.02	89.24	156.67	9549.61	8322.91	1764.92	69.24	924.3	249.80
24	0.15	0.21	1.05	99.28	3.69	4.43	116.18	0.105	0.52	0.56	99.50	0.89	1.38	137.70	1.19	3.45	95.35	95.73	1.3926	1.0981	1.6408	133.29	87.19	157.06	9590.32	8299.86	1792.34	68.67	934.4	249.84
25	0.19	0.19	1.05	99.34	3.54	4.33	118.01	0.106	0.52	0.55	99.51	0.90	1.39	137.63	1.14	3.43	96.35	95.91	1.3988	1.0938	1.6370	134.20	87.63	157.02	9796.08	8472.40	1829.54	70.23	939.5	253.38
26	0.25	0.18	1.05	99.33	3.54	4.34	118.17	0.106	0.52	0.55	99.51	0.90	1.40	137.66	1.12	3.39	95.93	95.25	1.4054	1.0838	1.6523	133.86	87.89	157.38	9877.39	8438.39	1838.22	69.16	941.0	251.31
27																														
28																														
29	0.15	0.17	1.05	99.34	3.48	4.29	118.18	0.112	0.51	0.56	99.50	0.88	1.39	137.88	1.11	3.37	95.53	96.14	1.4077	1.0834	1.6557	135.32	88.73	159.07	9783.47	8529.38	1844.06	71.49	940.7	254.31
30	0.31		1.05	99.33	3.53	4.33	118.12	0.110	0.51	0.56	99.50	0.88	1.35	138.10	1.10	3.39	95.56	96.33	1.4036	1.0860	1.6466	135.18	88.71	158.62	9958.44	8447.00	1835.04	69.89	927.4	249.96
7/1																														
2																														
3																														
6月AVG	0.21	0.21	1.07	99.25	3.70	4.51	115.16	0.104	0.52	0.56	99.51	0.92	1.47	136.80	1.23	3.55	96.58	96.68	1.4013	1.0812	1.6376	135.46	89.42	158.30	9810.31	8593.00	1826.99	69.70	947.0	256.04

内外市場データ（月中平均）

	短期金利		ユーロ円(TIBOR)		円・円スワップ			国債	プライムレート		為替相場		日経平均	米国市場				欧州市場	
	公定歩合 (%)	無担O/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$	¥/Eur	株価 (円)	F F O/N	1-03ヵ月	10年国債	N Y ダウ 工業株	1-03ヵ月	10年国債
05/11	0.10	0.001	0.09	0.11	0.36	0.93	1.61	1.51	1.375	1.90	118.41	139.54	14368.05	4.00	4.33	4.53	10695.25	2.36	3.48
05/12	0.10	0.001	0.09	0.11	0.34	0.95	1.64	1.53	1.375	1.85	118.64	140.68	15650.83	4.16	4.47	4.46	10827.79	2.47	3.37
06/1	0.10	0.001	0.10	0.11	0.35	0.94	1.59	1.47	1.375	1.80	115.45	139.99	14368.05	4.30	4.59	4.40	10872.48	2.51	3.34
06/2	0.10	0.001	0.10	0.11	0.49	1.15	1.75	1.56	1.375	2.00	117.89	140.77	16187.64	4.49	4.75	4.56	10971.19	2.60	3.49
06/3	0.10	0.002	0.12	0.14	0.68	1.37	1.91	1.69	1.375	2.10	117.31	140.98	16311.54	4.59	4.91	4.72	11144.45	2.72	3.66
06/4	0.10	0.002	0.13	0.19	0.81	1.58	2.14	1.90	1.375	2.45	117.11	143.56	17232.97	4.77	5.05	4.98	11234.68	2.79	3.92
06/5	0.10	0.020	0.19	0.27	0.89	1.60	2.15	1.91	1.375	2.50	111.51	142.54	16322.24	4.93	5.18	5.10	11333.88	2.89	3.98
06/6	0.10	0.036	0.31	0.40	0.88	1.50	2.06	1.86	1.375	2.45	114.53	145.14	14990.31	5.00	5.38	5.10	10997.97	2.99	3.99
06/7	0.40	0.155	0.40	0.48	0.94	1.57	2.12	1.90	1.375	2.65	115.67	146.72	15147.55	5.25	5.49	5.08	11032.48	3.10	4.02
06/8	0.40	0.250	0.43	0.51	0.89	1.48	2.02	1.81	1.625	2.50	115.88	148.47	15786.78	5.25	5.40	4.87	11257.35	3.23	3.89
06/9	0.40	0.261	0.43	0.50	0.77	1.27	1.84	1.67	1.625	2.30	117.01	149.11	15934.09	5.25	5.38	4.71	11533.60	3.34	3.76
06/10	0.40	0.254	0.44	0.52	0.85	1.37	1.92	1.76	1.625	2.35	118.66	149.66	16532.70	5.25	5.36	4.72	11963.12	3.50	3.80
06/11	0.40	0.257	0.47	0.56	0.91	1.36	1.87	1.69	1.625	2.30	117.35	151.13	16101.07	5.25	5.36	4.59	12185.15	3.60	3.73
06/12	0.40	0.255	0.53	0.60	0.92	1.34	1.77	1.63	1.625	2.35	117.30	154.92	16790.21	5.24	5.35	4.56	12377.62	3.60	3.73
07/1	0.40	0.267	0.55	0.61	0.91	1.37	1.84	1.70	1.625	2.40	120.58	156.56	17286.32	5.26	5.35	4.75	12512.89	3.75	4.03
07/2	0.75	0.357	0.57	0.63	0.91	1.36	1.84	1.70	1.625	2.30	120.45	157.60	17741.23	5.26	5.35	4.72	12631.48	3.82	4.05
07/3	0.75	0.509	0.67	0.70	0.93	1.31	1.76	1.61	1.875	2.20	117.28	155.29	17128.37	5.26	5.34	4.56	12268.53	3.89	3.95
07/4	0.75	0.511	0.65	0.70	0.97	1.37	1.82	1.67	1.875	2.25	118.83	160.36	17469.81	5.24	5.34	4.68	12754.80	3.98	4.16
07/5	0.75	0.521	0.65	0.72	1.04	1.41	1.84	1.67	1.875	2.25	120.73	163.19	17595.14	5.25	5.34	4.74	13407.76	4.07	4.29
07/6	0.75	0.507	0.69	0.77	1.19	1.66	2.08	1.88	1.875	2.45	122.62	164.48	17942.18	5.25	5.35	5.10	13480.21	4.15	4.58
07/7	0.75	0.499	0.75	0.83	1.21	1.66	2.10	1.88	1.875	2.55	121.59	166.68	17974.77	5.26	5.35	4.99	13677.89	4.22	4.52
07/8	0.75	0.485	0.80	0.87	1.11	1.43	1.87	1.66	1.875	2.55	116.72	158.98	16460.95	5.04	5.52	4.68	13239.71	4.55	4.30
07/9	0.75	0.510	0.84	0.90	1.08	1.36	1.79	1.60	1.875	2.25	115.02	159.64	16235.39	4.97	5.53	4.51	13557.69	4.74	4.24
07/10	0.75	0.506	0.84	0.91	1.10	1.37	1.83	1.65	1.875	2.45	115.74	164.74	16903.36	4.75	5.15	4.51	13901.28	4.68	4.29
07/11	0.75	0.500	0.85	0.91	1.02	1.27	1.71	1.51	1.875	2.20	111.21	163.28	15543.76	4.50	5.02	4.14	13200.58	4.64	4.10
07/12	0.75	0.497	0.86	0.91	0.97	1.24	1.70	1.53	1.875	2.30	112.34	163.50	15545.07	4.22	5.17	4.09	13406.99	4.85	4.24
08/1	0.75	0.502	0.85	0.89	0.83	1.09	1.60	1.42	1.875	2.10	107.66	158.14	13731.31	3.93	3.93	3.72	12538.12	4.48	4.05
08/2	0.75	0.504	0.85	0.88	0.89	0.96	1.64	1.44	1.875	2.15	107.16	158.18	13547.84	2.97	3.12	3.73	12419.57	4.36	3.96
08/3	0.75	0.511	0.86	0.89	0.92	1.08	1.51	1.30	1.875	2.10	100.79	156.28	12602.93	2.60	2.85	3.48	12193.88	4.60	3.81
08/4	0.75	0.506	0.84	0.88	0.98	1.16	1.59	1.41	1.875	2.10	102.49	161.53	13357.70	2.26	3.02	3.64	12656.63	4.78	4.05
08/5	0.75	0.505	0.84	0.88	1.18	1.47	1.87	1.67	1.875	2.40	104.14	162.05	13995.33	1.99	2.84	3.87	12812.48	4.86	4.20
08/6	0.75	0.509	0.84	0.89	1.30	1.62	1.99	1.75	1.875	2.45	106.90	166.23	14084.60	2.00	2.95	4.08	12056.67	4.94	4.55
08/7	0.75	0.503	0.85	0.90	1.18	1.44	1.82	1.60	1.875	2.40	106.81	168.35	13168.91	2.02	3.00	3.97	11322.38	4.96	4.50
08/8	0.75	0.504	0.85	0.89	1.01	1.26	1.66	1.45	1.875	2.25	109.28	163.75	12989.35	1.99	3.00	3.88	11530.75	4.96	4.22
08/9	0.75	0.495	0.85	0.90	1.05	1.31	1.69	1.48	1.875	2.30	106.75	153.25	12123.53	1.86	3.95	3.68	11114.08	5.02	4.10
08/10	0.50	0.487	0.88	0.91	1.02	1.27	1.55	1.50	1.875	2.35	100.33	133.49	9117.03	1.01	5.31	3.78	9176.71	5.11	3.90
08/11	0.50	0.301	0.82	0.86	0.89	1.13	1.48	1.46	1.675	2.40	96.81	123.25	8531.45	0.39	3.11	3.46	8614.55	4.23	3.57
08/12	0.30	0.211	0.86	0.88	0.85	1.02	1.32	1.31	1.675	2.40	91.28	122.79	8463.62	0.17	2.47	2.40	8595.56	3.29	3.06
09/1	0.30	0.120	0.73	0.78	0.75	0.94	1.26	1.25	1.475	2.25	90.41	119.68	8331.49	0.15	1.73	2.47	8396.20	2.45	3.09
09/2	0.30	0.111	0.71	0.77	0.72	0.89	1.19	1.29	1.475	2.25	92.50	118.33	7694.78	0.22	1.65	2.85	7749.01	1.96	3.17
09/3	0.30	0.100	0.68	0.75	0.74	0.91	1.25	1.30	1.475	2.25	97.87	127.44	7764.58	0.18	1.62	2.80	7235.47	1.63	3.06
09/4	0.30	0.104	0.62	0.72	0.75	0.99	1.39	1.44	1.475	2.30	99.00	130.50	8767.96	0.15	1.49	2.90	7992.12	1.42	3.19
09/5	0.30	0.102	0.58	0.70	0.69	0.94	1.36	1.44	1.475	2.10	96.30	131.92	9304.43	0.17	1.23	3.30	8398.37	1.28	3.42
09/6	0.30	0.104	0.56	0.68	0.68	0.92	1.41	1.47	1.475	2.10	96.52	135.46	9810.31	0.21	1.07	3.70	8593.00	1.23	3.55

（注）公定歩合とプライムレートは月末値。

内外政治・経済トピックスと今後のスケジュール

		国内	海外
6	1		米GM、連邦破産法11条適用申請。米製造業では史上最大の破綻。 米5月ISM製造業景況指数、42.8と5ヵ月連続上昇
	3		ハーナンキ米FRB議長「赤字や債務水準の上昇を懸念」
	4	1～3月期法人企業統計:経常利益(全産業)前年比▲69.0%	ECB理事会、政策金利据え置き。カバードボンド購入詳細発表 英中銀、政策金利据え置き。資産買い入れ規模据え置き。
	5		米5月失業率、9.4%と83/8以来25年9ヵ月振りの高水準 米5月非農業雇用者数、前月差▲345千人と昨年10月以降で最小
	8	5月景気ウォッチャー調査、現状・先行とも5ヵ月連続改善	S&P、アイルランドの格付けを「AA」に引き下げ、見通しも“Negative”継続。
	9	4月景気動向指数(速報):一致CIが08/5以来11ヵ月振りの上昇	米財務省、大手銀19行中10行総額680億ドルの公的資金返済を承認
	10	4月機械受注(船・電除民需)、前月比▲5.4%。受注額は87/4以来の低水準 5月国内企業物価、前年比▲5.4%と87/3以来22年2ヵ月振りの大幅減 麻生首相、温室効果ガス削減の中期目標「2020年に2005年比15%減」と表明	米バージュブック「経済状況は引き続き弱い」「5地区で下方トレンド緩和の兆し」
	11	1～3月期実質GDP(二次速報値)、前期比年率▲14.2%に上方改定	米5月小売売上高、前月比+0.8%と3ヵ月振りの増加
	12	日経平均株価、終値ベースで8ヵ月振りの10,000円台回復 鳩山総務相辞任、後任に佐藤国家公安委員長。	
	13		G8サミット財務相会合声明「経済に安定化の兆し」「回復は依然として不確実」
	16	日銀、政策金利の据え置きを全員一致で決定 日銀声明「景気は大幅に悪化したあと下げ止まりつつある」	BRICs首脳会議声明「多様・安定・予想可能な通貨制度求める」 米5月生産者物価、前年比▲5.0%と49/8以来60年振りの大幅下落 オバマ大統領、金融規制改革案発表
	17	月例経済報告、「一部に持ち直しの動きがみられる」と2ヵ月連続上方修正	米5月消費者物価、前年比▲1.3%と50/4以来59年振りの大幅下落 米1～3月期経常収支、名目GDP比▲2.9%と99/1-3以来の水準まで縮小
	22		独6月ifo景況指数、85.9と7ヵ月振りの高水準
	24	5月通関貿易収支、季節調整値で貿易黒字に復帰	米FOMC、政策金利据え置き。声明「経済の収縮ペースが減速しつつある」
	25		米FRB、短期流動性プログラムの見直しを発表 米FRB・ECB・日銀・英中銀・スイス中銀、通貨スワップを来年2月1日まで延長
	26	5月全国消費者物価(除く生鮮)、前年比▲1.1%と71年以降では過去最大の下落	米5月貯蓄率、6.9%と93/12以来の高水準
7	29	5月鉱工業生産、前月比+5.9%。予測指数:6月+3.1%、7月+0.9%。	
	30	5月失業率、03/9以来の5.2%に上昇。同有効求人倍率、0.44倍と過去最低	ユーロ圏6月消費者物価(速報値)、前年比▲0.1%と統合以来初のマイナス。 米6月CB消費者信頼感指数、49.3と4ヵ月振りの低下
	1	6月日銀短観 業況判断DI:大企業製造業▲48(+10)と10四半期振りの改善	米6月ISM製造業景況指数
	2		ECB理事会。米6月雇用統計、5月製造業受注
	3		米独立記念日(市場休場)
	6	5月景気動向指数(速報)	米6月ISM非製造業景況指数
	8	5月機械受注、同国際収支、6月マネーストック、同景気ウォッチャー調査	主要国首脳会議(～10日、伊ラクイラ)
	9		英中銀金融政策委員会(8日～)
	10	6月国内企業物価	米5月貿易収支、7月シカン大学消費者信頼感(速報値)
	12	東京都議会議員選挙投票	
	13	6月消費者態度指数	
	14		米6月小売売上高、同生産者物価
	15	日銀決定会合(14日～)、日銀総裁定例記者会見	米6月消費者物価、同鉱工業生産・設備稼働率、7月NY連銀製造業景況指数 FOMC議事録(6/23～24開催分)
	16	5月第三次産業活動指数	中国4～6月期実質GDP。米5月証券投資、7月フィラデルフィア連銀景況指数
	17		米6月住宅着工件数
	20		米6月CB景気先行指数
	21	日銀政策決定会合議事要旨(6/15～16分)	
	23	6月通関貿易収支	米6月中古住宅販売
	24		英4～6月期実質GDP(速報値)、独7月ifo景況指数 米7月シカン大学消費者信頼感(確報)
	27		米6月新築住宅販売
	28	通常国会会期末	米5月S&P/ケース・シラー住宅価格指数、7月CB消費者信頼感指数
	29		米6月耐久財受注、バージュブック
	30	6月鉱工業生産	
	31	6月労働力調査・有効求人倍率、家計調査、住宅着工 7月東京都区部消費者物価・6月全国消費者物価	米4～6月期実質GDP(速報値)、同雇用コスト指数 米7月シカゴ購買部協会景気指数